

山梨県自衛隊家族会総会に参加



5月19日(土) 甲府市にある地場産業センター「かいてらす」において開催された平成29年度山梨県自衛隊家族会定期総会・意見交換会を支援しました。本会は、県内各市町村の家族会会長を初め総勢14名が参加し、事業及び会計案の決議がなされました。また、家族会諸活動に貢献された功績により、自衛隊家族会長表彰状が南アルプス市長(花輪登紀夫氏)に、奥石会長から授与されました。総会終了後は、山梨地本長(林佐光1陸佐)から「国連平和維持活動及び平和と安全法制の概要並びに我が国を取り巻く安全保障環境」についての防衛講話があり、出席者の国防に対する関心を深めるための一助となりました。講話終了後に意見交換会が開かれ、第1師団副師団長(藤岡登志樹陸将補)を始め、多数の来賓が出席され盛況のうちに終わりました。奥石会長から「今年から、会の名称が変わり、父兄会から家族会となりました。これを契機として父母として子供本人までも取込む等、活発に活動して行けるよう、家族会の在り方も考えていきたいと思っています。家族支援・募集広報と、更に自衛隊に協力して、会の活動を活性化していきたいと思っています。」と挨拶がありました。

山梨地本では、今後も家族会と連携し、募集活動の強化及び自衛隊への理解を深めて頂くよう努力して参ります。



自衛隊
山梨地本便り

発行
自衛隊山梨地方協力本部
広報室

甲府市丸の内1-1-18
甲府合同庁舎
055-253-1591

巨摩地区募集相談員連絡会総会

山中会長は「今年度も巨摩地区募集相談員が一致団結して活動を行い、山梨地本の募集に貢献していく」と決意を述べ、閉会しました。



募集相談員と今年度新たに入会した会員、来賓として山梨県選出国会議員、巨摩地区所在の市長、町長、山梨地本長等併せて69名が参加しました。総会では、国歌斉唱、会長(山中邦雄氏)挨拶、来賓祝辞に続き、28年度事業報告・収支決算並びに29年度事業計画・収支予算(案)がそれぞれ承認されました。その後の意見交換会では、現在の厳しい募集環境は今後さらに厳しさを増していくと予想されることから、情報の共有と認識の統一、会の結束を図り、募集目標をいかに達成するかについて活発な意見交換がなされました。



予備自衛官1日間訓練

4月22日(土) 自衛隊山梨地方協力本部において、平成28年度第4四半期に採用された予備自衛官を対象とする予備自衛官1日間訓練を実施し、2名の予備自衛官が参加しました。サービスの宣誓、本部長訓示の後、予備自衛官の重要性と制度、国内外情勢、我が国の防衛のあり方、自衛隊の現状、予備自衛官としての心構え等について真剣な様子で受講していました。参加した予備自衛官は「予備自衛官の重要性を認識し、今後は予備自衛官として新たな角度から自衛隊に貢献します。」と決意を新たにしていました。今後は山梨地本は、予備自衛官1日間訓練を通じ、新規採用予備自衛官の身上把握に努め、次の5日間訓練への出頭意欲を振作していきます。



新 広報班のつぶやき...

皆さんこんにちは！こんべいす♪
前月号で自己紹介させて頂いたのですが、もう少しだけお話しさせてください。私は昨年5月から主人の地元である山梨に家族で移住して来たのですが、その前は色々な理由で7箇所移り住みました。まず26歳の時に語学勉強と自分探し？の為にオーストラリアで1年間過ごしました。オーストラリアでは自分で仕事を探して、働きながら旅をするという生活を送っていたのですが、その時に一番印象に残っている事が、東京ドーム3個分程もあるスイカ農園での仕事をしていた事です。場所が内陸部のド田舎だったので周りには街もなく、夜になると本当に真っ暗でした。その環境が幸いして、そこで見る星空は、本当に素晴らしいかったです。空一面に星がびっしりと見えて天の川はもちろん、南十字星や星座が地平線に刻々と消えていく様子は正に天然のプラネタリウム！その様子を見ていると、改めて自然や地球の壮大さを感じ、感動して何故か号泣した事を覚えています(笑)いつか、家族を連れてあの星空を見ながら3人で号泣したいですね。(最後までお付き合い有難うございました！)

山梨地本ホームページ企画



応募期間は6月1日(木)から6月30日(金)まで！
いつものように山下シお待ちしています。

山梨地本広報班です♪
今日も、山梨地本のホームページを御覧になりましたか？

退官者紹介



三等陸尉 廣瀬 教行
平成29年5月25日付

永年に亘る勤務お疲れ様でした。
退官後の活躍を心からお祈り申し上げます。

桂川フェスティバルに初参加



5月14日(日) 上野原市の桂川新田地区近隣公園で開催された桂川フェスティバルに初めて参加しました。

当日は天候も良く、絶好のイベント日和となりました。オープニングセレモニーでは、主催者挨拶、上野原市長挨拶の後、バルーンリリースが行われスタートしました。

フェスティバルは、地元PRや物販コーナー、子どもコーナー、フードコーナーなど来場者は目当てのコーナーの前に列を作っていました。またステージエリアでは、地元保育園児のダンスや中学生、高校生の吹奏楽部員による演奏の他、第1特科隊員による北富士天王太鼓の演奏も行われ、会場を大いに盛り上げていました。

山梨地本ブースでは、フェイスシールに人気が集まり、多くの子供達や家族連れが顔や腕などに張って楽しんでいました。また、自衛隊に興味のある学生が広報官の説明を聞きながら広報ビデオを真剣に見ていました。

第1特科隊員による装備品展示では、初めて見る渡河ボートやパジエロに乗って楽しそうに写真撮影を行っている様子が見られました。今回のイベント参加で、自衛隊に対する理解を深めてもらう良い機会になりました。

自衛隊山梨地本便り

発行
自衛隊山梨地方協力本部
広報室

甲府市丸の内1-1-18
甲府合同庁舎
055-253-1591

東部地区自衛官募集相談員連絡会部隊研修支援



4月19日(水)から21日(金)の間、山梨県東部地区自衛官募集相談員連絡会(参加者8名)の広島県にある海上自衛隊呉地方総監部及び幹部候補生学校を研修支援しました。

初日は「てつこのくじら館」と「大和ミュージアム」を研修しました。「てつこのくじら館」には、実際に使用されていた潜水艦を改装したものがあり、初めて見る本物の潜水艦に圧倒されていました。

二日目は、午前中に呉地方総監部を研修し、概要説明の後、歴史あるレンガ作りの中を案内していただきました。また、場所を移して護衛艦を研修し、任務の概要説明の後、艦内を研修しました。

午後は江田島に移動し、幹部候補生学校(通称赤レンガ)の研修を行いました。また、会長(杉本初男氏)、前会長(平井成尚氏)の2名が幹部候補生学校長(真殿知彦海将補)を表敬訪問しました。

参加者は、旧海軍から現在に至るまで使用されている庁舎を案内してもらい、歴史溢れる風景に感動していました。

一般幹部候補生採用試験及び他種目等の紹介

(土) 5月13日 甲府合同庁舎にて一般幹部候補生採用試験を実施しました。受験者は少く緊張した様子でしたが、真剣な面持ちで試験に臨んでいました。

今後、一般曹候補生、自衛官候補生、航空学生、防衛大学校学生、防衛医科大学校(医学科・看護科)及び高等工科学校生徒の試験も実施します。

また、オープンキャンパスや学校見学会なども計画しています。自衛隊の仕事について知りたい方や興味のある方は経験豊富なスタッフが詳しい説明を行っておりますので是非お問い合わせください。



山梨市牧丘町自衛隊協力会総会



5月19日(金) 山梨市役所牧丘支所において開催された、平成29年度山梨市牧丘町自衛隊協力会定期総会に出席しました。

牧丘町協力会は、自衛隊の災害派遣を契機として昭和45年に創立し、47年に自衛隊に対する理解・協力を頂いている団体です。

本総会では、平成28年度事業・決算報告及び平成29年度事業・予算計画の決議、新役員紹介が行われたほか、4月9日第1師団長表彰を受けたことを中山会長から会員へ報告されました。

本会に出席した北富士駐屯地司令佐藤一陸佐は、表彰に対するお祝いの言葉を述べるとともに「我々が活動する上で最も頼りとなるのは、自衛隊を理解・支援して頂いているこのような会があることです。今後もご理解・ご協力を宜しくお願いします。」と祝辞を述べました。

また、林本部長は、「山梨の自衛隊を日頃から支えて頂き本当に感謝しております。山梨県は地形上富士山噴火を初め、いつどこでどのような震災が発生するかわからない状況の中で、自衛隊が活動をしていく為に、郷土愛を持ち地域特性を知る山梨県出身隊員を一名でも多く輩出していきたいと思っております。今後も皆様のお力添えを頂きながら、国家国民、そして山梨県民の皆様のために頑張りたいと考えております。」と祝辞を述べました。

山梨地本では、今後も地域の協力を頂きながら、地域に寄り添った活動を行って行きたいと思っております。

任期制隊員ライフプラン集合訓練



5月18日(木) 北富士駐屯地において、任期制隊員ライフプラン集合訓練を実施しました。

この訓練は、任期制隊員に対し、明確な自己分析に基づいて自らの意思によってライフプランを確立させ、それに必要な資格取得等の自己啓発の姿勢を身につけさせることを目的として実施しました。

北富士駐屯地所在部隊の入隊後一年を経過した任期制隊員37名が参加しました。

参加した隊員は部内外の教官から、ライフプランの重要性、近年の雇用情勢、山梨県の援護状況、また、予備自衛官等制度についての教育を受けました。午後からは、実際に自分のライフプランを作成し、各自の将来に思いを馳せ、真剣に取り組んでいました。

参加した隊員は「自分の将来について、考えがまだまだ甘いところがあり、真剣に考える良い機会となった。」と述べていました。

山梨地本は、今後も引き続き部隊及び隊員と密接に連携し、円滑な就職援助業務実施に努めていきます。